

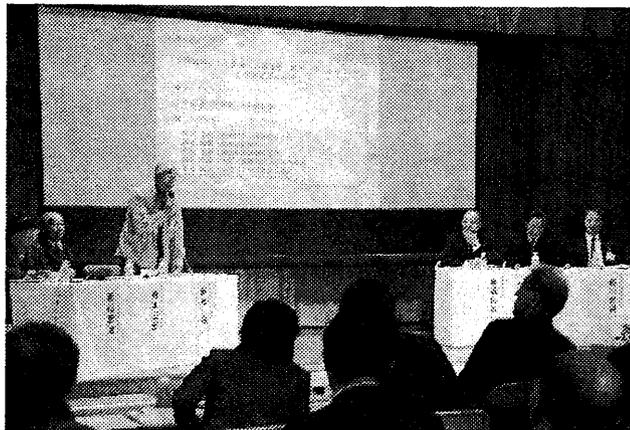
防災とまちづくり語る

十勝岳ワークショップ

美 瑛

【美瑛】十勝岳山麓^{さんろく}地域住民ワークショップ
 ツピン美瑛(北海道
 火山防災サミット20
 08十勝岳地方実行委
 主催)がこのほど、町
 民センターで開かれ、
 美瑛、上富良野両町の
 住民や研究者らが火山
 防災とまちづくりなど
 を話し合った。

ワークショップは火
 山防災をテーマに、一
 年おきに道内各地で開
 いている。今年は、十
 勝岳が一九八八年に噴
 火して二十年になるの



に合わせ、美瑛が会場
 に選ばれた。

パネル討論は新谷融
 北大名誉教授がコーディネーターを務め、町
 民代表や美瑛町元助役
 ら五人が意見を交わし
 た。十勝岳噴火後に白
 金温泉の道路整備やま
 ちづくりが進められた
 ことを振り
 返り、新谷
 名誉教授が
 「防災に関
 する住民の
 知恵が土地
 利用に生か
 され、災害
 を軽減して
 新谷名誉教
 授らが意見
 交換したパ
 ネル討論

きた。防災と観光のま
 ちづくりは住民や関係
 機関の連携が大切」と
 まとめた。

このほか、岡田弘北
 大名誉教授をコーディネーターに、前回の噴
 火の教訓を学ぶ討論会
 も開かれ、約二百十人
 の参加者がメモをとり
 ながら聞き入った。

(角和浩幸通信員)

新谷名誉教
 授らが意見
 交換したパ
 ネル討論